

登録コード	A2550300	開講年度	2026				
授業科目	高冷地域応用フィールド演習					担当教員	阿久津 雅子
英文授業名	Applied Field Seminar for highland Agriculture						
単位数	2	講義期間	前期(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	3年生
講義室	野辺山ステーション		授業形態	演習	遠隔授業科目		備考
信大コンピテンシー 該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】	
	2022Aカリ, 20221Aカリ, 2020Aカリ, 2019Aカリ						
	【2022年度以前がキム対象】専門的な知識や研究能力を修得している				⇔	高冷地域における蔬菜, 果樹, 花卉, 作物等について, 栽培管理技術を習得できる	
	2026A3編 (24A), 2025A3編 (23A), 2024Aカリ, 2023Aカリ						
	【2024年度以前がキム対象】専門的知識や研究能力を基礎としての確かな情報を収集・理解し, 発信できる能力を修得している。				⇔	高冷地域における蔬菜, 果樹, 花卉, 作物等について, 栽培管理技術を習得できる	
(2)授業で学べる「テーマ」	環境共生						
(3)全学横断特別教育プログラム	環境マインド実践人材養成コース						
(4)授業の概要	この演習は, 高冷地域である野辺山における農業について学び, 準寒冷地域である伊那とは異なる農業生産について考える機会を創出することを目的とした演習である。また, 共同作業の重要性を知り, 協調性を養う機会を創出することも目的とする。野辺山で実際に使用されている農業機械も操作するという実践的なフィールド演習であり, 高冷地域における作物の栽培から収穫・出荷までを学ぶ						
(5)授業計画	5月16日(土), 6月6日(土), 9月16日から18日に実施 5月16日(土): 集合・バス移動(野辺山農場) 午前: 圃場の区割りおよび施肥計算等 午後: キャベツやベニバナインゲン等の播種, 施肥およびマルチ張り(乗用あるいは手押しマルチャー) 6月6日(土): 集合・バス移動(野辺山農場) 午前: 薬剤散布の説明および操作(水を入れたブームスプレーヤーなどの操作) 午後: キャベツやベニバナインゲン等の播種および定植(定植穴バーナーやその他定植器具) 9月16日(水): 集合・バス移動(野辺山農場: 野辺山泊) 午前: キャベツの出荷用段ボールづくり, 包丁研ぎ等 午後: ベニバナインゲン等の収穫, 出荷準備 9月17日(木): 野辺山農場(野辺山泊) 午前: キャベツ等の収穫 午後: キャベツ等の収穫, 片付け, 耕耘(耕耘機), 緑肥の播種 9月18日(金): 野辺山農場 *昼食後, 伊那へ 午前: キャベツやスイートコーンの収穫, 片付け等, レポート・感想						
(6)自主学習の指針	実習で扱う作物の生態や栽培手法, 高冷地農業等に関連する授業の復習や書籍を読んでおくことを勧める						
(7)成績評価の基準	60点分の配分は, 実習を受ける態度, 積極性, 協力する姿勢などにより採点します。40点分はレポート内容によって採点します。 評価基準は以下の通り。 秀: 90点以上(授業の達成目標の水準からみて卓越している) 優: 80~89点(授業の達成目標の水準よりかなり上にある) 良: 70~79点(授業の達成目標の水準よりやや上にある) 可: 60~69点(授業の達成目標の水準にある) 不可 (D): 50~59点(授業の達成目標の水準よりやや下にある) 不可 (E): 49点以下(授業の達成目標の水準よりかなり下にある)						
(8)事前事後学習の内容	高冷地域農業について学んだことを通し, 農業という産業の重要性について再考し, 勉強の意欲に繋げるように関係する書籍などを読む						
(9)テストやレポートの予定	レポートおよび感想を最終日に提出						
(10)成績評価の方法	上記のとおり, 受講態度60点, レポート40点で評価します						
(11)質問、相談への対応および連絡先	質問は適宜受け付けます 蔬菜園芸学研究室(AFC構内ステーション農場研究棟) 阿久津: akutsu@shinshu-u.ac.jp						

(12)履修上の注意	・ A2550300・A2550301のいずれか一方の履修のみしか認めません。また、両方の単位修得はできません ・ 既に応用フィールド演習を単位修得している学生の履修も認めません ・ 信州大学農学部生の履修上限人数を10名とし、他大学の学生の上限人数を5名とします（計15名）。定員を超過した場合は、志望理由書等で選抜をします。大型トラクタ等の操縦を行う可能性があることとトラクタ操縦を実習で行っている学生を優先とします（植物生産一貫実習を修得している学生、次いで動物生産システム実験実習を修得している学生） ・ 5月16日、6月6日、9月16日は午前9時に農場教室前に集合で、5月16日、6月6日は午後3時過ぎには、9月18日は午後1時過ぎにはバスで伊那に向けて出発。5月16日、6月6日、9月16日の昼食は各自用意してください。 ・ 全3回の演習のすべてに出席することが条件です ・ 持物は、医療保険証、作業着（上下）、帽子、作業用手袋、長靴、水筒、日焼け止め、筆記用具等とする。9月16日から18日の宿泊時はこれらにプラスして宿泊に必要な身の回り品（洗面具、タオル、着替え、ゴミ袋を含む）等も持参してください。 ・ 傷害保険に加入していることを履修条件とします。 ・ 9月16日から18日の演習期間中の食事費および宿泊費等(4000円程度)を現地で徴収します。 ・ 天候と実習対象作物の生育状況によっては、予定を変更することがあります。
【教科書】	参考資料を配付します
【参考書】	特に指定しません